

CONTENTS

| | | |
|-----------|------------------------|----|
| CHAPTER 1 | マツダについて | |
| | トップメッセージ | 05 |
| | 成長の軌跡 | 11 |
| | At a Glance | 13 |
| CHAPTER 2 | 価値創造ストーリー | |
| | 価値創造プロセス | 17 |
| | 価値創造のために大切なこと | 19 |
| | CFOメッセージ | 33 |
| | 2030経営方針 | 35 |
| | 財務ハイライト | 41 |
| | 11カ年主要財務データ | 43 |
| CHAPTER 3 | 価値創造の取り組み | |
| | サステナビリティ基本方針 | 47 |
| | マツダのサステナビリティの推進体制・取り組み | 48 |
| | 重点課題(マテリアリティ) | 49 |
| | 2050年カーボンニュートラルへの挑戦 | 51 |
| | 資源循環 | 52 |
| | TCFDへの対応 | 53 |
| | 人的資本の強化 | 55 |
| | 人権の尊重 | 57 |
| | 心と身体の活性化 | 58 |
| | 安全・安心なクルマ社会の実現 | 59 |
| | コーポレートガバナンス | 61 |
| | コンプライアンス | 65 |
| | リスクマネジメント | 66 |
| | 社外取締役インタビュー | 67 |
| | ESGデータ | 71 |
| | 会社概況 | 74 |

[統合報告書制作の目的]

株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまを対象に、マツダグループが中長期的に創造する価値を財務・非財務情報を用いて統合的にお伝えすることを目的としています。

[編集方針]

「マツダ統合報告書2023」は、当社の目指す姿や、価値創造プロセス、カーボンニュートラル実現に向けた取り組み、サステナビリティの取り組みなどについてステークホルダーの皆さまへお伝えするために発行しています。ステークホルダーの皆さまとの対話に資するコミュニケーションツールとして、進化させてまいります。

[参考にしたガイドライン]

国際会計基準(IFRS) 財団傘下の、SASB(サステナビリティ会計基準審議会) スタンダード、国際統合報告評議会(IIRC) 国際統合報告フレームワーク、経済産業省「価値協創ガイダンス」など。

SASB対照表 <https://www.mazda.com/ja/sustainability/guideline/>

[報告期間]

2022年4月から2023年3月を中心に報告(一部、2023年4月以降の取り組みも報告しています)。

[対象組織]

マツダ株式会社およびグループ会社を含むマツダグループ全体について報告(マツダグループ全体を対象にしている場合は、個々に対象範囲を記載)。

[発行時期]

日本語版：2023年10月、英語版：2023年12月予定

[統合報告書の位置づけ]

以下の媒体で情報開示を行っています。



免責事項

本報告書の記述には、マツダ株式会社および、そのグループ会社の過去の事実から、将来の事業環境に関する予測、事業に関する計画などさまざまな情報を記載しています。これらの掲載事項は、記述した時点で入手できた情報に基づいたものであり、将来、諸与件の変化によって異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまには、以上をご了解いただきますようお願い申し上げます。